

## 宗内寺院紹介 93

東京教区第八部

はいじまだいし  
 本覚院  
 ほんがくいん



①



②

① ② 拝島大師 五重塔  
 ③ 拝島大師  
 初縁日だるま市



③

拝島大師本覚院は、多摩川の清流に秋川が合流する拝島の里さとにあり、御本尊お大師さまは、正月三日の御入滅で、元三大師がんさんだいとも称され、三塔伽藍を復興し、学問の興隆につとめ比叡山中興の祖であらせられます。

拝島大師のお大師さまは大師御自刀御自作ごじちごごじさくの尊像で、長く叡山横川に伝えられましたが織田信長の焼打に際し、敬謙大僧都に救出され、天正六年（一五七八）本覚院に安置され以来四百有余年。近三十余年、拝島大師の信仰いやまし、文殊楼・大鐘堂・多宝塔・新本堂元三大師中堂・水屋水天宮・南大門・西門転害門てんがいもん・八角円堂弁天堂・経藏堂・観音堂・五重塔を建立。ひとえに檀信徒各位のお大師さまへの信心こそが形をなしているのです。

東京教区第八部  
 拝島大師 本 覚 院

住 所／〒196-0002 東京都昭島市拝島町1-6-15  
 電話番号／042-541-1142